

# 月はいくつある？

惑星の周りを回る星を「<sup>まわ</sup>衛星」と言います。

地球の衛星は「月」だけです。

太陽系の他の惑星たちの中にも衛星を持つものがあります。

火星は「フォボス」と「ダイモス」という2つの衛星があります。どちらも火星に比べてずっと小さく、じゃがいものようなゴツゴツした形をしています。

木星の衛星は「79個」あります。中でも特に大きな4つは「ガリレオ衛星」と呼ばれます。

土星はさらに多く「82個」、天王星は「27個」、海王星は「14個」、それぞれ衛星がありますが、水星や金星には衛星がありません。

木星、土星、天王星、海王星には、まだまだ発見されていない衛星が多くあると見られています。



©NAOJ

※衛星の数は2020年9月現在



©NASA

※大きさの比率は正しくありません。

# ガリレオ衛星を見よう

木星の特に大きな4つの衛星「イオ」「エウロパ」「ガニメデ」「カリスト」は、発見者であるイタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイにちなんで「ガリレオ衛星」と呼ばれます。

イオは火山活動が活発な天体です。エウロパには氷の表面の下に海があると考えられていて、ガニメデは水星よりも大きく、太陽系最大の衛星です。そして、カリストの表面は他の天体の衝突などでできた衝突クレーターで覆われています。同じ木星の衛星といっても、姿はまるで違います。

ガリレオ衛星は小さな望遠鏡や双眼鏡でも見ることができます。

12月中旬ごろまで木星は見ごろです。

望遠鏡をお持ちでしたらぜひ探してみてください。

ガリレオ衛星は6等星くらいの明るさがあり、木星の周りを回っているため、見るたびに位置が変わり、木星の手前や後ろ側に重なる時には見えなくなります。



プラネタリウムスタッフが撮影